

かみ あき づ

上秋津 区域

民有林直轄治山事業区域

保全対象：民家・県道

災害直後の山腹崩壊状況 (H23)

県道への土砂流出状況 (H23)

至 龍神村

県道 田辺龍神線

右会津川



ほん だ がい と
本 田 垣 内 区 域

保全対象：民家等



災害直後の山腹崩壊状況(H23)



災害直後の溪流荒廃状況(H23)



かみ へい じ がわ
上平治川 区域



保全対象：民家・市道



災害直後の山腹崩壊状況(H23)



災害直後の溪流荒廃状況(H23)



し ものたに にしがわ
下モ谷西側 区域

保全対象：民家・市道



災害直後の山腹崩壊状況 (H23)



災害直後の溪流荒廃状況 (H23)



しょうぶ だに
菖蒲谷 区域

熊野古道

保全対象：熊野古道（世界遺産）

災害直後の山腹崩壊状況(H23)

災害直後の溪流荒廃状況(H23)



はっしょうまえ
八 升 前 区 域

保全対象：民宿・民家・市道

災害直後の山腹崩壊状況 (H23)

災害直後の溪流荒廃状況 (H23)

あい が ごう
愛 賀 合 区域

災害直後の山腹崩壊状況 (H23)



災害直後の溪流荒廃状況 (H23)



市道 観音谷黒線

至 大塔行政局

保全対象：市道・民家



紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

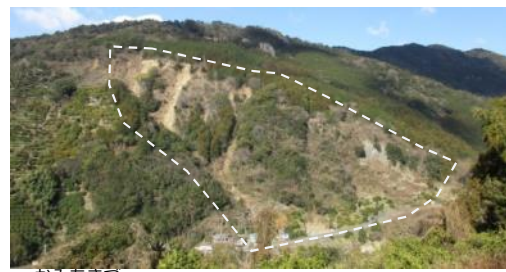
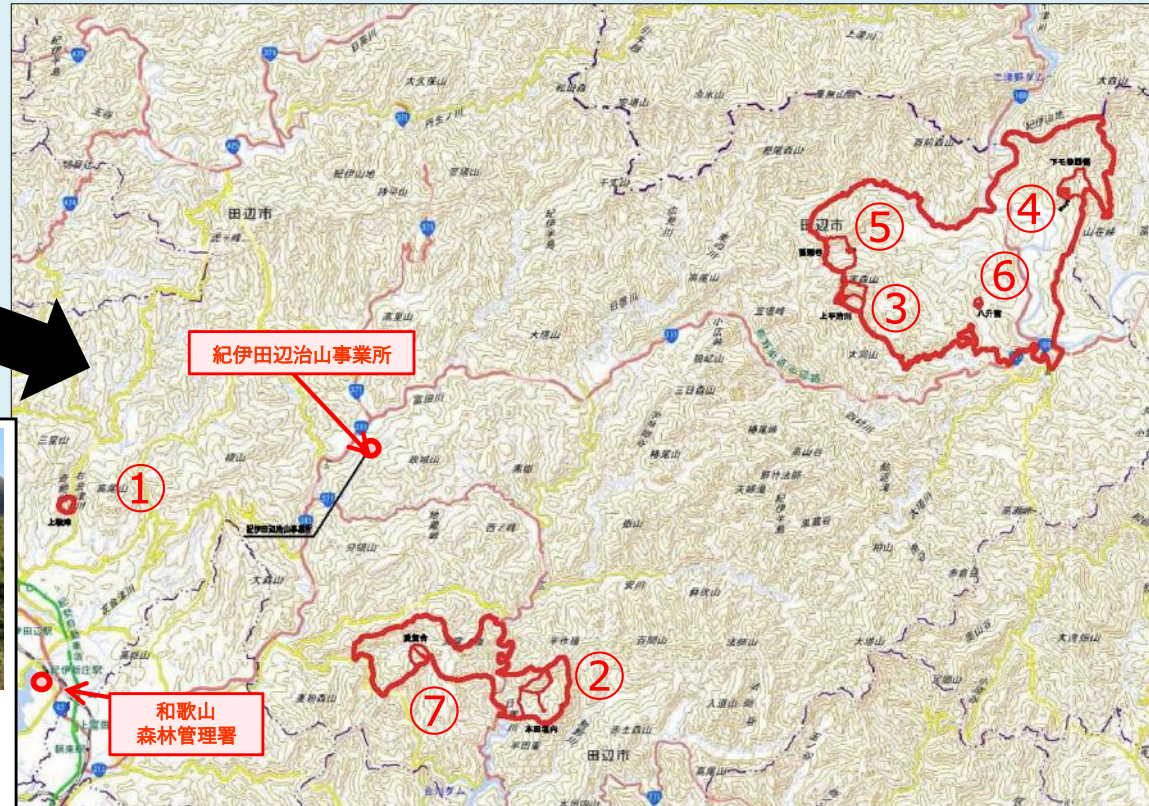
○工事概要（紀伊田辺地区）

和歌山森林管理署管轄区域



平成23年9月の台風12号災害により、紀伊半島に甚大な被害が発生しました。和歌山県では紀南地区を中心に被害が発生し、多数の崩壊地が確認され、現在もその爪痕が残っています。

近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署は、被災箇所を早期に復旧し地域の安全を図るため、平成25年度より紀伊田辺地区において民有林直轄治山事業を実施し、現在、4区域において復旧工事を行っています。（菖蒲谷区域は平成27年度移管済み、愛賀合区域・八升前区域は令和2年度に移管済み。）



- かみあきつ
①上秋津区域（田辺市上秋津）
・崩壊規模 1.72ha
・対策工：山腹工 地下水排除工、溪間工



- ほんだがいと
②本田垣内区域（田辺市西大谷）
・崩壊規模 3.24ha
・対策工：溪間工 山腹工



- かみへいじがわ
③上平治川区域（田辺市本宮町皆地）
・崩壊規模 6.26ha
・対策工：溪間工 山腹工



- しものたににしがわ
④下モ谷西側区域（田辺市本宮町上切原）
・崩壊規模 5.40ha
・対策工：溪間工 山腹工



- しょうぶだに
⑤菖蒲谷区域（田辺市本宮町三越）
・崩壊規模 0.90ha ※事業完了
・対策工：溪間工 山腹工 移管済み



- はっしょうまえ
⑥八升前区域（田辺市本宮町湯峯）
・崩壊規模 0.93ha ※事業完了
・対策工：溪間工 山腹工 移管済み

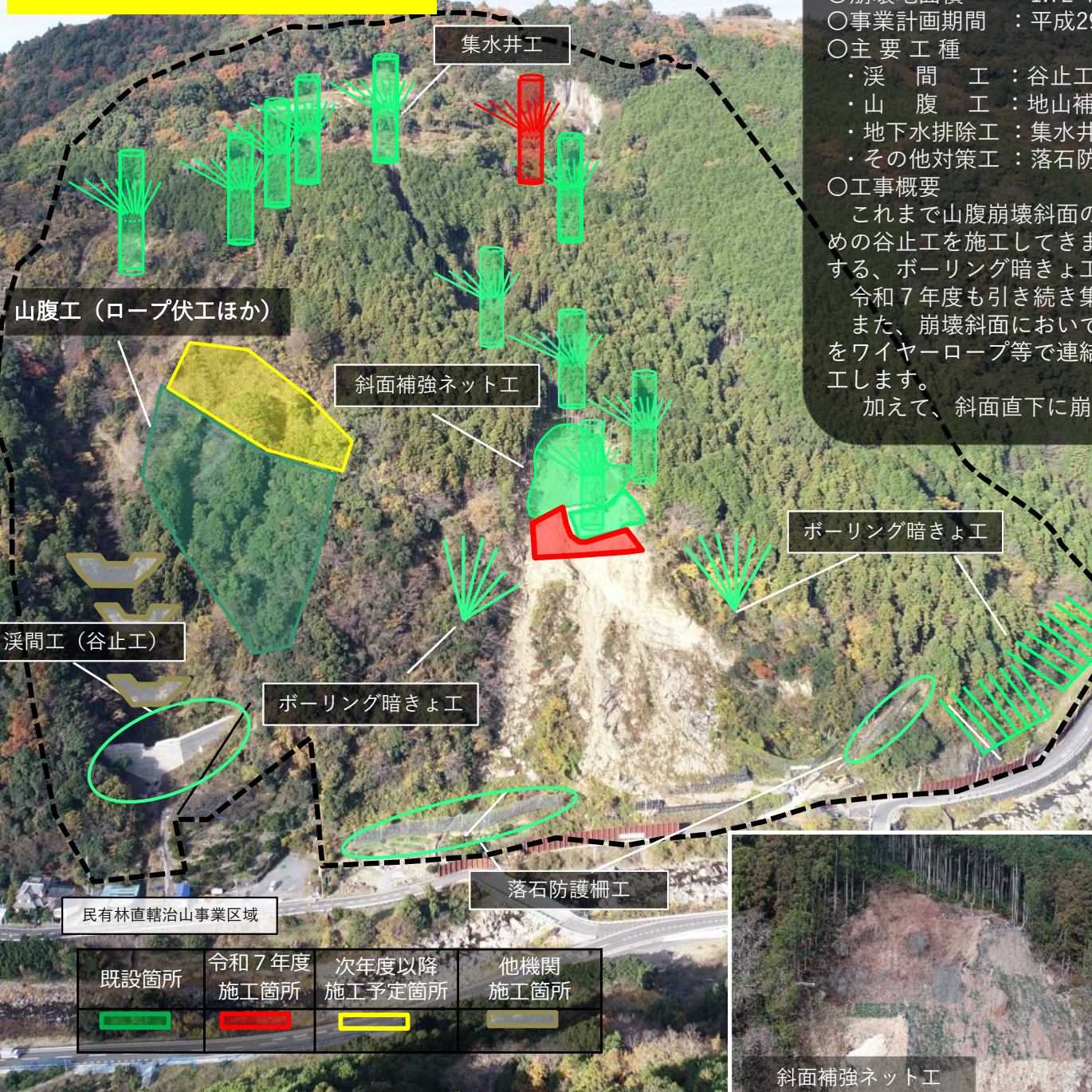


- あいかこう
⑦愛賀合区域（田辺市鮎川）
・崩壊規模 0.72ha ※事業完了
・対策工：溪間工 山腹工 移管済み

紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

かみ あき づ
上 秋 津 区 域

令和7年4月時点



- 場 所 : 田辺市上秋津
 ○崩壊地面積 : 1.72 ha
 ○事業計画期間 : 平成29年度～令和9年度
 ○主 要 工 種
 ・ 溪 間 工 : 谷止工
 ・ 山 腹 工 : 地山補強土工、ロープ伏工
 ・ 地下水排除工 : 集水井工、ボーリング暗きょ工
 ・ その他対策工 : 落石防護補強土擁壁工、落石防護柵工

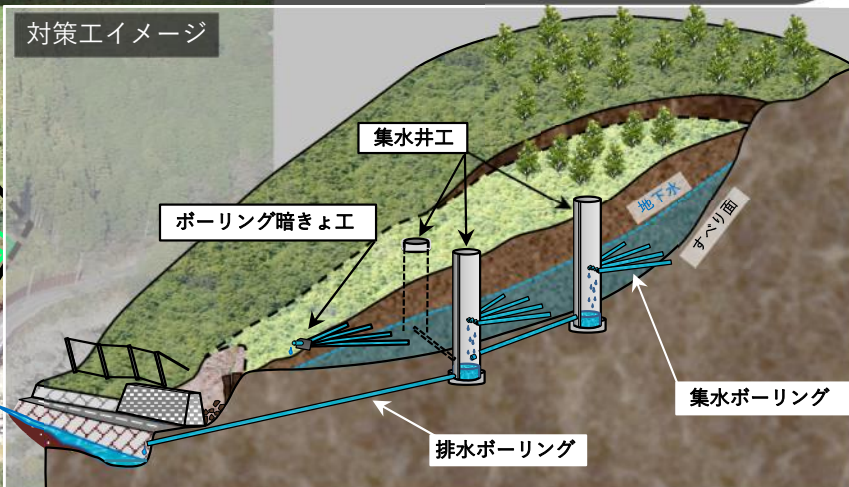
○工事概要

これまで山腹崩壊斜面の風化・侵食及び崩壊防止のための山腹工崩壊土砂を受け止めるための谷止工を施工してきました。また、地すべりに作用する地下水を排除することを目的とする、ボーリング暗きょ工・集水井工を施工してきました。

令和7年度も引き続き集水井工を施工し、地すべり性の滑動力の軽減を図ります。

また、崩壊斜面においては補強材（ロックボルト等）を挿入し、補強材の頭部（支圧板）をワイヤーロープ等で連結することにより斜面の安定性を向上させる斜面補強ネット工を施工します。

加えて、斜面直下に崩壊土砂や落石を受け止める落石防護柵工を施工します。



紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

ほん だ がい と
本 田 垣 内 区 域

令和 7 年 4 月時点

地山補強土工

既設箇所	令和 7 年度 施工箇所	次年度以降 施工予定箇所	他機関 施工箇所
			

- 場 所 : 田辺市西大谷
○崩壊地面積 : 3.70 ha
○事業計画期間 : 平成 25 年度～令和 9 年度
○主 要 工 種
・ 溪 間 工 : 谷止工、床固工
・ 山 腹 工 : 法枠工、筋工、土留工、航空実播工 ポーリング暗きょ工、地山補強土工
○工事概要
これまで、溪間工により山脚の固定及び不安定土砂の流出防止を、山腹工（航空種播工、土留工、ポーリング暗きょ工ほか）により斜面の安定及び緑化を図ってきました。
令和 7 年度は、地山補強土工を施工し、斜面の安定を図ります。
【今年度事業期間：令和 7 年 3 月～令和 7 年12月】

溪間工（谷止工）



山腹工（地山補強土工）

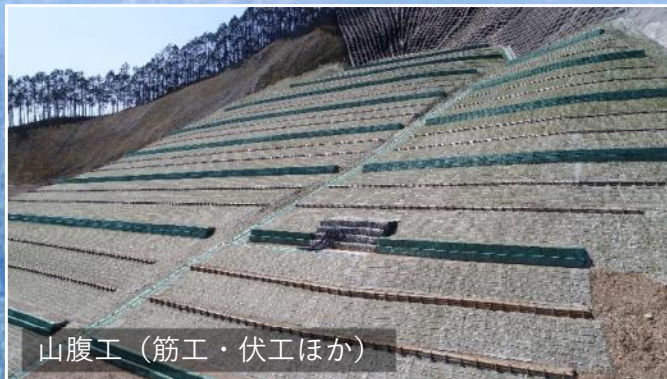


紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

かみ へい じ がわ

上平治川 区域

令和7年4月時点



山腹工（簡易法砕工）



- 場 所 : 田辺市本宮町皆地
- 崩壊地面積 : 6.26 ha
- 事業計画期間 : 平成 25 年度～令和 9 年度
- 主 要 工 種
 - ・ 溪 間 工 : 谷止工、根固工
 - ・ 山 腹 工 : 簡易法砕工、筋工、土留工

○工事概要

これまで、溪間工により山脚の固定及び不安定土砂の流出防止を図り、また山腹工（簡易法砕工・土留工ほか）により、斜面の安定及び緑化を図ってきました。

令和7年度も引き続き山腹工（簡易法砕工）を施工する事により斜面の安定を図ります。

【今年度事業期間：令和7年3月～令和8年2月】

既設箇所	令和7年度 施工箇所	次年度以降 施工予定箇所



紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

しも の たに にし がわ
下モ谷西側 区域

令和7年4月時点

- 場所：田辺市本宮町上切原
- 崩壊地面積：5.40 ha
- 事業計画期間：平成25年度～令和9年度
- 主要工種
 - ・溪間工：谷止工
 - ・山腹工：土留工、法枠工、筋工、地山補強土工
- 工事概要

これまで、溪間工により山脚の固定及び不安定土砂の流出防止、山腹崩壊地上部の急勾配の斜面を山腹工（法面工、土留工ほか）により斜面の安定及び緑化を図ってきました。

令和7年度は、法枠工により斜面の安定並びに、流路工を施工することにより山脚の固定と土砂流出の軽減を図ります。

【今年度工期：令和7年3月～令和8年1月】

山腹工（土留工・筋工ほか）

山腹工（法枠工、土留工、筋工）

溪間工（谷止工）

法枠工

流路工

既設箇所	令和7年度 施工箇所	次年度以降 施工予定箇所	他機関 施工箇所
			

紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

しょうぶだに

菖蒲谷 区域

（事業完了、移管済み）

- 場所 : 田辺市本宮町三越
- 崩壊地面積 : 0.90 ha
- 事業期間 : 平成 25 年度～平成 26 年度
(平成 27 年度に和歌山県へ移管)

○主要工種

- ・溪間工 : 谷止工、護岸工
- ・山腹工 : 法枠工、土留工、水路工

○工事概要

溪間工（谷止工）を施工し、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止を図りました。

山腹崩壊によって発生した不安定土砂の移動抑止及び崩壊斜面の安定のために、山腹工（土留工・筋工）を施工しました。また、上部の急勾配斜面については、景観に配慮した法切工及び植生法枠工を施工しました。

熊野古道

山腹工（土留工・筋工・法枠工）



溪間工（谷止工）



紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

はっ しょう まえ

八 升 前 区 域

（事業完了、移管済み）

- 場所 : 田辺市本宮町湯峯
- 崩壊地面積 : 0.93 ha
- 事業期間 : 平成 25 年度～平成 30 年度
(令和 2 年度に和歌山県へ移管)

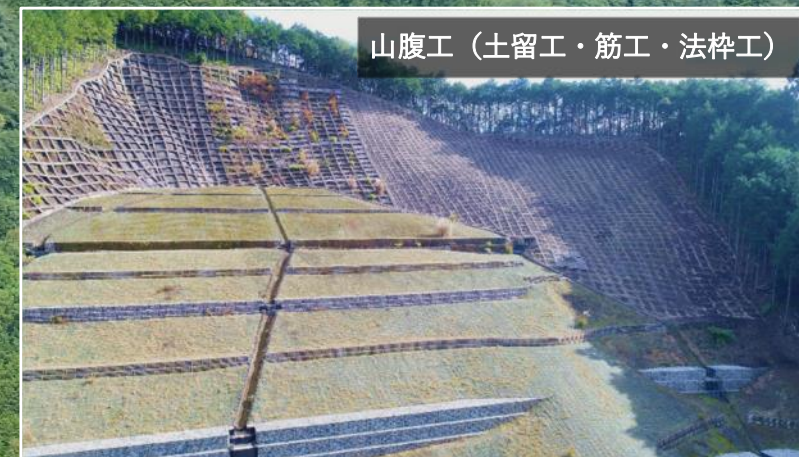
○主要工種

- ・溪間工 : 谷止工
- ・山腹工 : 土留工、筋工、法枠工ほか

○工事概要

溪間工（谷止工）により山脚の固定及び不安定土砂の流出防止を図りました。

また、山腹工（法枠工・土留工ほか）により、崩壊斜面に堆積する不安定土砂を安定させ、流出防止を図りました。



紀伊田辺地区民有林直轄治山事業（近畿中国森林管理局 和歌山森林管理署）

あい が ごう
愛 賀 合 区域

（事業完了、移管済み）

- 場所 : 田辺市鮎川
- 崩壊地面積 : 0.72 ha
- 事業期間 : 平成 25 年度～平成 30 年度
（令和 2 年度に和歌山県へ移管）

- 主要工種
 - ・溪間工 : 谷止工
 - ・山腹工 : 簡易法枠工、土留工、ボーリング暗きょ工

○工事概要

溪間工（谷止工）を施工し、溪床に堆積する不安定土砂の流出防止を図りました。

山腹工（簡易法枠工、土留工ほか）を施工し、山腹崩壊によって発生した不安定土砂の移動を抑止、崩壊斜面の安定を図りました。またボーリング暗きょ工を施工し、地下水の効率的な排除を図りました。

山腹工（簡易法枠工・土留工ほか）



溪間工（谷止工）

